

イネ紋枯病が多発しています。 防除を徹底しましょう！

岡山県病害虫防除所の調査（中南部地帯の18地点、54圃場）によると、イネ紋枯病の**南部地帯の発生圃場率は58.3%（平成39.6%）、中部地帯の発生圃場率は81.8%（平成61.0%）と高くなっています。**発生程度「中」*以上の圃場率は、南部地帯2.8%（平成5.3%）、中部地帯5.7%（平成16.2%）と発生程度は低い傾向にあります。病勢が進んで上位3葉鞘以上の上位葉が発病すると収量低下等の被害が生じるので、発生に注意しましょう。

広島地方気象台9月2日発表の季節予報では、向こう1か月の平均気温は平成より高いとされています。本病は高温多湿により発生が助長されるため、今後大気不安定な状態が続くと、にわか雨などによって病勢が急激に進展する可能性があります。

*発生程度「中」：発病株率が50%以上で、病斑が上位3葉鞘まで認められる。

1. 防除対策及び防除上の参考事項

- （1）本病の防除適期は穂ばらみ期～出穂期ですが、穂首出揃期までに、粉剤、液剤、水和剤を散布すれば、ある程度の防除効果が見込まれます。上位葉まで進展が認められる場合は速やかに防除を行いましょう。
- （2）最新の農薬登録情報は、農林水産省の「農薬アプリ（農薬の安全使用のための農業者支援ソフト）」（<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/nouyaku-app/index.html>）で、ご確認ください。

表 主な防除薬剤（令和3年9月6日現在、単一成分の薬剤のみを記載）

薬剤名	農薬使用基準			FRACコード ^{注)}
	使用時期	使用回数	希釈倍率・処理量	
バリダシン液剤5	収穫14日前まで	5回以内	1,000倍	U18
バリダシン粉剤DL	収穫14日前まで	5回以内	3～4kg/10a	
バンタック水和剤75	収穫14日前まで	3回以内	1,000～1,500倍	7
モンカットフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	1,000～1,500倍	
モンカットフロアブル40	収穫14日前まで	3回以内	2,000倍	
モンカットファイン粉剤20DL	収穫14日前まで	3回以内	3～4kg/10a	
モンセレンフロアブル	収穫21日前まで	4回以内	1,500倍	20

注) FRACコード表による農薬有効成分の作用機構の分類

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

